

日本コミュニケーション学会九州支部  
第31回大会

The Japan Communication Association  
Kyushu Chapter  
The 31st Annual Convention

大会テーマ：AI時代のコミュニケーション  
ーコミュニケーション学は持続可能かー  
Convention Theme: The Possibility of  
Communication Studies in the Age of AI

2024年11月30日(土)  
November 30th (Sat), 2024

会場

鹿児島大学 共通教育棟1号館2階 122教室

開催方法：対面・Zoom (ハイブリッド)

KAGOSHIMA UNIVERSITY.

General Education Building No.1, 2nd Floor

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html>

# 日本コミュニケーション学会九州支部 第31回大会

## 大会案内

1. 大会参加費 【対面】無料 【ZOOM】無料
2. 九州支部会員の方は支部大会に必ずご出席ください。
3. 大会参加申込 11月25日(月)までに下記 Google Form よりご登録ください。  
<https://docs.google.com/forms/d/1PZD4f14Cxe6hS0Z1RfryhEVH9aah5bPkYhriWbf6nwo/edit>  
※URL をクリックしても開かない場合は、URL 欄にコピー&ペーストしてください。
4. お茶等を用意しています。
5. 懇親会  
懇親会費は 6,000 円程度を予定しております。会費は当日受付にて納入してください。11月28日(木)以降に申し込みをキャンセルされた場合は会費の全額を申し受けます。
6. お問い合わせ先  
日本コミュニケーション学会九州支部事務局  
(九州支部事務局長)  
[kyushu\\_office@ml.jca1971.com](mailto:kyushu_office@ml.jca1971.com)

## ZOOM で参加される皆さまへ

1. 申込時にご登録いただいたメールアドレスに、大会参加に必要な情報 (Zoom のミーティング ID など) をお送りします。11月28日(木)までに必要な情報が届いていない場合は、[kyushu\\_office@ml.jca1971.com](mailto:kyushu_office@ml.jca1971.com) へご一報ください。
2. 参加時のカメラは ON でも OFF でも結構です。
3. Zoom 上での表示名を「氏名(所属先)」にしてご参加ください。  
例) 日本 個美優 (九州支部大学)  
入室後に自分の画像上で右クリックして「名前の変更」を選択すると、表示名を変更することができます。
4. マイクはミュートにし、ご発言の際のみ解除してください。
5. 発言の際は「手を挙げる」して司会から指名された後に、マイクのミュートを解除してご発言ください。発言後、「手を降ろす」してマイクをミュートに戻してください。
6. レコーディングは禁止します。
7. ミーティング URL とパスワードは第3者へ公開されないようお願いします。

## 会場で研究発表される皆さまへ

1. プロジェクターの機器とパソコンは会場に用意してありますので、データを USB メモリーに入れてご持参ください。また、研究発表までの時間に、ご自分で行ってください。
2. ハンドアウトを準備する場合は 30 部程度ご用意いただき、発表前に配布してください。  
また、発表時間は質疑応答を含めて 20 分です。発表時間は厳守してください。
3. やむを得ない事情で発表ができなくなった場合は速やかに大会実行委員までご連絡ください。

## スケジュール

- 09:30～ 受付(2F 122 教室前)
- 09:50～09:55 開会式(会場: 2F 122 教室)  
支部長挨拶: 清宮 徹(西南学院大学)
- 10:00～12:00 特別講演「コミュニケーション学は持続可能か」  
(会場:2F 122 教室)  
司会: 友池 梨紗(愛知淑徳大学)
- 10:05-10:35 地域のなかから考えるコミュニケーションの課題  
池田 理知子(福岡女学院大学)
- 10:35-11:05 学問的価値のあるコミュニケーション学であるために—メタ理論と時代性の重要性—  
吉武 正樹(福岡教育大学)
- 11:05-11:35 質的研究の可能性と批判的視座の方向性  
清宮 徹(西南学院大学)
- 11:35-12:00 講師と参加者による意見交換
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～13:55 研究発表①(会場:2F 122 教室)  
司会: 吉村 美路(愛知東邦大学)
- 13:00-13:25 福島原発事故の避難者研究についての対話: 小冊子制作の報告  
金本 暁(TMF Group 株式会社)
- 13:25-13:50 AI 支援型対話をもたらす上司・部下関係の変容: ターニングポイントに着目した言説分析  
河村 まい香(明治大学)
- 14:00～14:55 研究発表②(会場:2F 122 教室)  
司会: 野中 アンディ(コミュニケーションスキル協会)
- 14:00-14:25 コミュニケーション科目におけるアクティブラーニング活動の実践報告

友池 梨紗 (愛知淑徳大学)  
黒瀬 菜々 (西日本短期大学)

**14:25-14:50** コミュニケーションの観点から見た「和」の意味づけ—大学生へのインタビュー調査を通して—

郭 仁敬 (西南学院大学大学院)  
川野 優希 (立教大学大学院)

**14:55~15:10 支部総会 (会場:2F 122 教室)**

**司会: 清宮 徹 (西南学院大学)**

**15:20~15:55 学生特別企画 (会場:2F 122 教室)**

**司会: 吉村 美路 (愛知東邦大学)**

**【学生特別講演】**

**15:20-15:40** 慢性疼痛患者の「生きられた経験」の考察と全人的医療への道筋—構築論に基づくコミュニケーション研究—

川井田 健斗 (西南学院大学)

**15:40-15:50** 質疑応答

**16:00~17:30 基調講演 (会場:2F 122 教室)**

**司会: 上土井 宏太 (鹿児島大学)**

**16:00-17:00** 講演「大学教育でいかに学生と、そして、生成AIと向き合うか」

伊藤 奈賀子先生

(鹿児島大学高等教育研究開発センター長・教授)

**17:00-17:25** 質疑応答

**17:25~17:30 閉会式 (会場:2F 122 教室)**

**挨拶: 上土井 宏太 (鹿児島大学)**